



市議会だより



2017.5.1

No. 193

3月 定例会



エントランス

企画

議会への entrance

～第2回 甲府市議会の1年間～

平成 29 年度予算案を可決！

写真（遊亀公園附属動物園 今年3月から一般公開されたユキヒョウの「ミュウ」）

ユキヒョウとは…中央アジアの山岳地帯に生息し、白く長い毛並みと太く長いしっぽが特徴で、希少種のため絶滅危惧種に指定されているネコ科の動物です。

CONTENTS

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------------|
| ● 《企画》議会へのエントランス …………… ②～③ | ● 予算特別委員会審査の概要…………… ⑫～⑬ |
| ● 3月定例会の概要／市長所信表明要旨 … ④ | ● 審議結果…………… ⑭～⑮ |
| ● 市政に関する質問…………… ⑤～⑩ | ● 請願審査結果／意見書／議会日誌／
平成29年6月定例会の予定…………… ⑯ |
| ● 常任委員会審査の概要…………… ⑪ | |

～第2回 甲府市議会の1年間～



常任委員会の様子

本会議
議会運営委員会
⇒会期決定など議会の運営について協議します。

常任委員会
会派代表者会議
広報委員会

議会では、定期的に行われる定例会、委員会のほか、議会閉会中も、調査・研究等を行っています。

議会の活動について、イラストや写真を取り入れてわかりやすく説明します。

※entranceとは、入口という意味です。

詳細は
11ページ

本会議
議会運営委員会
常任委員会

⇒市の仕事の分野ごとに設置されており、議案や請願等を審査します。

決算審査特別委員会
会派代表者会議
広報委員会

9月定例会

定例会は、年4回定期的に開催される議会の会議で、市長や議員から提出された議案等を審議します。
また、臨時会とは、必要に応じて開催される議会の会議をいいます。

～閉会中の活動～

《行政視察・研修》

本市の市政運営に活かすため、他市の先進的な取組や優れた施策について視察を行います。

また、議会活動の一層の充実を図るため、各種研修会に参加します。

なお、調査・研究するため、政務活動費を適正に活用し活動しています。

《委員会等》

閉会中も必要に応じて

- ・会派代表者会議
 - ・常任委員会
 - ・広報委員会
 - ・調査研究会
- を開催しています。

本会議
議会運営委員会
常任委員会
会派代表者会議
⇒各会派の意見の調整・連絡及び議会活動について協議します。
広報委員会

～政務活動費について～

政務活動費は、甲府市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、調査・研究その他の活動のために必要な経費として、議員一人あたり月4万円が会派に交付されています。

議会への

エントラン entrance



本会議の様子

6月定例会

3月定例会

本会議
議会運営委員会
常任委員会
予算特別委員会
会派代表者会議
広報委員会

⇒議会だよりの企画や編集等、
また、その他議会の広報に関すること
について協議・調整します。

詳細は
12、13ページ

3月

4月

5月

6

2月

1月

12



～調査研究会～

議員が自らの調査・研究をもとに議論を行っていく場として「リニア中央新幹線調査研究会」「中核市調査研究会」「議会制度調査研究会」を設置しています。

なお、議会制度調査研究会の成果である「甲府市議会における大規模災害発生時の対応要領」に基づき、情報伝達訓練を実施しました。

用語解説

「予算・決算審査特別委員会」とは

特別委員会とは、特定の事件を審査するために設置する委員会であり、本市では3月に新年度の予算や条例を、9月に前年度決算を審査するため設置しています。

12月定例会

3月定例会の概要

甲府市議会は、3月定例会を2月27日から3月21日までの23日間の日程で行いました。

平成29年度甲府市一般会計予算、甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定についてなど、各常任委員会の審査(概要は11ページ)及び予算特別委員会の審査(概要は12～13ページ)を経て、市長から提案された52案件を審議し、すべて承認・可決・同意いたしました。

主な条例は、甲府市農業委員会の委員の定数等に関する条例制定についてで、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めたものです。

主な補正予算は、平成28年度甲府市一般会計補正予算(第7号)で、(仮称)森のスタジオ(堂の山青少年キャンプ場)整備事業費追加等の補正となっています。

樋口雄一市長 所信表明要旨



本市におきましては、現行の重要施策を多面的かつ重層的に補強したこうふ未来創り重点戦略プロジェクト【2016年度改定】を戦略的に展開するとともに、「選ばれる都市」への更なる成長と発展に向けた取組を全庁一丸となり総力を挙げて推進してまいります。

平成29年度の市政執行にあたりましては、第六次甲府市総合計画における基本構想に基づき、次に述べます方針のとおり、施策の重点的かつ効率的な執行に努めてまいります。

○いきいきと輝く人を育むまちをつくる
地域社会全体で次代を担う子どもたちの「育ち」を見守る機運の醸成に努めるほか、出産・育児の不安感を軽減し、安心して子どもを産み、育てられる包括的なチャイルド・ケア体制の充実を図り、加えて子育てを強力に支援する環境を整備するとともに、確かな学力と思い遣る心、そして生きる力を身に付けながら成長できる教育環境づくりに努めます。

また、生涯スポーツの普及や競技力の向上等に取り組むとともに、生涯にわたり学び続け、心豊かに暮らすことができるまちづくりを推進します。

○魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる
業種・業態を超えた地域産業の連携を目指すほか、誇れる地域資源を活用し、甲府市産にこだわった製品・農産物のブランド化等を精力的に推進するとともに、農業の担い手の育成・確保や生産基盤の整備に努めるなど、地域産業の持続的な発展と「稼ぐまち・稼げるまち甲府」の実現を目指します。

また、重層的な歴史と多様な地域資源を活用した観光戦略を全市的に展開する取組を推進するとともに、新たな人の流れの創出を図り、地域活力の増進と賑わいの創出に取り組みます。

○安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる
災害に対する市民の意識の涵養と知識の蓄積を促し、災害に強い地域社会づくりを推進するとともに、防犯活動や交通環境の改善等を推進し、安全・安心なまちづくりに取り組みます。

また、中核市への移行に向けた総合的な健康支援拠点の整備を進めるとともに、地域で互いに支え合い誰もが健やかに暮らすことができる社会基盤づくりを推進します。

○自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる
豊潤な自然を次代につなぐため、市民と事業者、行政との更なる協働による温室効果ガス排出抑制等を推進するとともに、空家等の解消支援など良好な住環境の整備に継続的に取り組み、市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりに努めます。

また、公共交通の確保や甲府駅南口など公共インフラの整備を行うとともに、「甲府市リニア活用基本構想」に基づき、リニア中央新幹線の開業の効果を最大限享受できるようにリニアを活用したまちづくりに向けた取組を進めるなど、便利で快適な都市空間づくりを推進します。

○基本構想の推進
引き続き市民との対話を原点とし、市政情報の積極的な提供と市民の声を聴く機会の充実による市民と協働のまちづくりを一層促進するとともに、戦略的かつ効果的なシティブロモーションの展開等に取り組みます。
また、事務事業の見える化や業務改革による市民サービスの向上に努めるとともに、事業の果敢なスクラップと公共施設の最適化を進めながら経営意識の向上を図るなど、バランスのとれた行政改革を遂行し、持続性の高い行政運営に努めます。



日本共産党
代表質問（一括）

内藤 司朗

甲府市リニア活用基本構想（案）について

質問Q 山梨県のリニア環境未来都市整備方針は上位計画として位置付けるべきではないと考えますが、見解を求めます。

答弁A リニア中央新幹線の開業及びリニア中間駅の設置を千載一遇のチャンスと捉え、市域全体の活性化に繋げるため、今年度を目途に甲府市リニア活用基本構想の策定に取り組んでいます。

現在、山梨県及び本市では、リニアを視野に入れたまちづくりの基本的な考え方や施策の方向性について検討を進めており、基本構想の策定に際しては、今後の社会経済情勢等をしつかり見極めるとともに、官民協働の考え方も取り入れる中で、2027年のリニア開業に向け、甲府らしい「リニアを活かしたまちづくり」を進めていきたいと考えています。



カジノ施設の誘致について

質問Q 市長自らカジノ誘致に反対の意思表示を示すべきではないでしょうか。見解を求めます。

答弁A 昨年12月に施行された、特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律は、地方公共団体の申請により国が認定した特定複合観光施設区域において、カジノ施設を初め、レクリエーション施設や宿泊施設等を含む統合型リゾート施設の整備を推進すること、インバウンドを初めとする国内外の観光客の増加や、雇用の確保等により、国際競争力の向上や地域経済の振興に寄与するものとしています。

その一方で、特定複合観光施設がもたらすギャンブル依存症患者の増加や、青少年の健全育成等の生活環境への影響に対する懸念の声も聞き及んでいますので、国や県、他都市の動向を初め、様々な情勢を見守る中で、慎重な検討が必要となる事案であると考えています。

その他の質問項目

・平成29年度予算について



政友クラブ
代表質問（一括）

長沼 達彦

市長就任2年間で振り返りの所感について

質問Q 任期の折り返しを迎え、これまでの2年間で振り返りの所感についてお伺いします。

答弁A 平成27年度は、こうふ未来創り重点戦略プロジェクトを策定し、子ども最優先のまちの実現等のための諸施策を展開するとともに、第六次甲府市総合計画や、甲府市総合戦略を策定するなど、新たな甲府の創造に向けた希望の種を蒔き、しっかりと発芽させるためのスタートの年となったところです。

また、本年度は、手掛けた諸施策をスピード感と機動力をもって、確実かつ着実に推進するとともに、総合計画の説明会を開催し、市民の皆様の想いや貴重なご意見を膝詰めでお伺いすることができ、市民視点での市政運営の重要性を再確認するとともに、未来に責任が持てる政治の結実への決意を改めてもったところです。

国際交流都市及び歴史物語都市の形成について

質問Q 甲府市リニア活用基本構想（案）における国際交流都市及び歴史物語都市の形成に向けた、まちづくりの考え方や施策内容についてお伺いします。

答弁A 現在策定している甲府市国際交流都市への構築として、インバウンド観光の誘客を積極的に図るため、外国人観光客のニーズに合った着地型観光の新規開発を進める一方、市民の皆様と留学生との交流推進のほか、外国語や外国文化に係る市民講座の開設等、日常生活における国際交流の定着を目指しています。

また、歴史物語都市への整備として、本市の強みである古代・中世・近世の歴史資源の有効活用や環境整備を図るとともに、本市の魅力をもっと発信できるように、国際交流都市の魅力を日本語や外国語で丁寧に案内ができるよう、歴史総合案内の人材育成にも取り組んでいます。

その他の質問項目

・ユニバーサルデザインについて他



※一問一答…質問項目ごとに質疑応答を行う。一括…質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。



創政こうふ
代表質問（一問一答）

桜井 正富

空家等対策計画策定の考え方と今後の展開について

質問 Q 空家等対策計画策定に向けての考えと、今後の展開についてお伺いします。

回答 A 空家等に起因する様々な問題に対応し得る施策を総合的・計画的に進めていく必要があります。活かせる空家等は積極的に活用する等の観点から、空家等の増加を抑制する対策を迅速に講じていかなければならないと考えています。そうした考えから、甲府市空家等対策計画（案）の基本方針には、空家等の予防と適切な管理等を位置付け、空家等の予防・活用・解消に向けた取組を進めていくことにしています。

また、平成29年度から、建設部に空き家対策課を新たに設置するとともに、甲府市空家等対策協議会により、各取組の効果検証等を実施し、真に実効性ある取組を進めてまいります。



東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致について

質問 Q 現状の取組状況や今後の見通しをお聞かせください。

回答 A 大会組織委員会が運営する公式ウェブサイトに、市内施設を利用し事前合宿を受け入れることとした陸上競技等の7競技を登録・公開し、情報発信を行うとともに、諸外国とのネットワーク等を有する山梨学院大学の協力を得る中で、誘致活動に取り組んでいます。

また、アイルランド共和国のオリンピック委員会が、11競技について山梨県内での事前合宿を希望しているとの情報が県より提供されたことから、公式ウェブサイトに掲載した競技と合致する複数の競技について、受入の希望がある旨を申し出たところです。

今後は、早期に合宿実施の合意を取り付けるとともに、事前合宿の誘致をその後の交流へ繋げていくため、国へのホストタウン登録申請を行っていきたいと考えています。

■その他の質問項目

・保健所設置に向けた甲府市医師会などとの連携について 他



公明党
代表質問（一問一答）

長沢 達也

子どもの貧困対策への取組について

質問 Q 子どもの貧困対策について今後どのように取組を進めていくのか、実態把握への取組を含めて考えをお聞かせください。

回答 A 本市においては、子ども相談センター「おひさま」を設置し、多くの相談に対応しており、その中で保護者の経済的な要因や家庭環境等の様々な問題により、子どもたちの生活に影を落としている事例が見受けられています。

このような状況を踏まえ、これまでもひとり親世帯等への各種支援を実施してきたところですが、来年度には、学習支援や進学相談の専門員を増員する等、子どもの



貧困に係る取組を更に進めるとともに、早期に実態調査を実施し、その結果を踏まえた効果的な貧困対策に取り組んでまいります。

胃がんリスク検査について

質問 Q 新年度、新たに導入する胃がんリスク検査について、詳細な内容をお示しください。

回答 A 胃がんリスク検査は、血液検査により、ピロリ菌感染の有無を調べる検査と胃炎の有無を調べる検査を組み合わせて、胃がんになりやすいか否かのリスクを評価する検査であり、厚生労働省は、胃がんに対する正しい知識として、ヘリコバクター・ピロリの除菌をすることが有効であることを示しています。

こうしたことから、本市では、若年のうちに胃がんリスク検査を受けることにより、生涯にわたる発症リスクを減少させるため、対象年齢を19歳から39歳とし、来年度の6月から11月に実施する集団健診において導入してまいりたいと考えています。

■その他の質問項目

・青少年育成活動への支援について 他

都市農業について



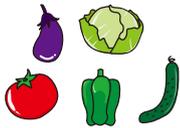
日本共産党
一般質問（一括）

清水 英知

質問 都市農業の振興に関する計画の策定に伴う取組について、また、独自の負担軽減によつて都市農地・都市農業の存続及び発展を図るべきと考えますが、見解を求めます。

弁答（仮称）甲府市農業振興計画において、都市計画マスタープランとの整合性を図る中で、都市農業のあり方についても検討していくこととしています。

また、本市独自の負担軽減策については、政府が策定した都市農業振興基本計画において、新たな制度の構築にあわせて、課税の公平性の観点等も踏まえ、生産緑地を除く市街化区域内農地の保有に係る税負担のあり方について検討することとなっています。ことから、その動向を注視してまいります。



就学援助の新入学児童・生徒入学準備費の増額について

質問 準要保護世帯も含めて、就学援助の入学準備費を増額するべきと考えますが、見解を求めます。

弁答 新入学児童・生徒への入学準備費については、支給対象項目に定め、準要保護世帯に対しても要保護世帯の基準額と同じ額を支給しています。

この入学準備費の支給額については、文部科学省より、平成29年度入学児童・生徒から、要保護者への補助単価を小中学校でそれぞれ引上げる予算案が示されたところです。

また、就学援助の支給単価については、国の要保護児童・生徒援助費の補助単価を参考にすることで定めており、現在では、支給項目ごとに国の補助単価と同額か、またはそれ以上の設定として支援を行っていますので、今後においては、入学準備費の増額については、他都市の状況等を調査・研究する中で検討してまいります。

その他の質問項目

・宿泊型新保健指導について 他

地区防災計画の作成と地域コミュニティの育成等について



政友クラブ
一般質問（一問一答）

坂本 信康

質問 地区防災計画の作成や、防災における地域コミュニティの育成及び醸成に向けた取組についてお伺いします。

弁答 本年4月から2年をかけた、市内の全単位自治会に出向いた防災研修会の実施を積極的に推進してまいります。この研修の一環として、自治会ごとの地区防災計画作成にあたり、住民の皆様と専門的知識を持った市職員との協働による作業を進め、実効性のある計画としていきます。

また、地域コミュニティの育成等については、来年度から取り組む地域防災力の強化推進事業の中で、住民の皆様が一緒になって防災マップをつくる等の共同作業が役立つものと期待しており、研修会後のフォローアップについても、地域と行政が密接に連携し、防災を通じた地域コミュニティの育成に努めてまいります。

いじめ問題への取組について

質問 いじめ問題に対する取組と、学校への支援についてお伺いします。

弁答 教育委員会においては、甲府市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止連携会議の開催等、いじめ問題へ積極的に取り組んでおり、小中学校においては、学校いじめ防止基本方針に基づき、思い遣る心の育成や規範意識の醸成を図るとともに、児童会・生徒会活動での取組が進められています。

また、教職員による、きめ細かな観察や、いじめアンケート等によって早期発見に努めており、保護者と連携した早期解決、スクール・カウンセラーや養護教諭による心のケアにも取り組んでいます。

なお、アンケートで把握された事案は解消状況の確認や、新たに配置したスクール・ソーシャルワーカー等を含めたチームでの解決に取り組む等、学校を支援する体制を整えています。

その他の質問項目

・消防団員の事故対策等について 他





政友クラブ
一般質問（一問一答）

小澤 浩

中小企業・小規模企業の振興について

質問 現状への認識と、見直し後の甲府市商工業振興指針における振興への取組について伺います。

併答 甲府市中小企業・小規模企業振興条例の4月からの施行にあわせ、条例に規定した人材の育成及び確保等の5つの基本的施策に基づき、甲府市商工業振興指針に事業化の視点等を盛り込む見直しを行っているところです。新年度は、既存事業に加え、経営者や後継者の育成等を行うとともに、本市の強みである地場産業のブランド力向上を図るため、山梨大学と共同研究を進めているスパークリングワインの商品化等を行ってまいります。



拡大等へ繋げるため、本市産業の魅力等を総合的に発信する（仮称）甲府市産業支援サイトを構築してまいります。

「甲府スタイルの授業」の進捗状況について

質問 進捗状況と次期学習指導要領への関連付けについて伺います。

併答 本年度より全小中学校で「甲府スタイルの授業」については、子どもたちに確かな学力を育むことを目的として、各種研修会や指導主事等の学校訪問において周知を図るとともに、日常的な実践を進めるよう指導しており、各学校においては、児童・生徒が学びの見通しを立て、振り返る活動を授業に取り入れ、児童・生徒の実態や学校の課題に応じた授業の実践を進めています。

今後は、「甲府スタイルの授業」の実践と検証を進め、次期学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びの実現に繋がるよう、取り組んでまいります。

その他の質問項目

・ごみの増加要因とプラスチック製容器包装の分別について 他



政友クラブ
一般質問（一問一答）

末木 咲子

修学旅行等の体験学習の受入に向けた情報発信について

質問 本市の魅力を活かした体験学習をアピールするパンフレットを配布するなど、他都市への周知を推進するべきと考えますが、見解を求めます。

併答 本市では、新たな旅行需の創出に向け、県外の旅行会社や海外メディア等を招致し、本市固有の地域資源の魅力に直接触れていただき、商談会等を行う現地視察ツアー、いわゆるファミトリップを実施したところです。修学旅行等の体験学習の受入の実現には、受入体制や安全管理など克服すべき課題も多くありますが、将来を担う若者に本市を知ってもらう絶好の機会でもあることから、ファミトリップで培ったネットワークも活かしながら、ご提案の方法も検討し、継続的に取り組んでまいります。



女性の健康サポートについて

質問 女性の健康週間における取組、また、女性特有のがん検診の受診率向上や乳がんの自己検診方法の周知に関する取組についてお示しください。

併答 女性の健康週間の期間を問わず、一年を通して女性の健康への取組を実施しており、主に子宮がんや乳がん及び更年期障害等をテーマとした健康教室の開催や、女性特有の健康上の個別相談等により、女性の健康支援に取り組んでいます。

乳がん及び子宮がん検診の取組としては、国の補助事業を活用し、節目の年齢の方に無料クーポン券を送付し受診勧奨を行うとともに、本市ホームページや広報誌等での周知により、受診啓発を行っています。

また、乳がんの自己検診については、乳がん検診手帳に自己検診をする方法を記載し、周知を行うほか、保健師が各地区において自己検診方法を伝えるため健康教育を実施しています。

その他の質問項目

・企業の農業参入について 他



創政こうふ
一般質問（一問一答）

天野 一

自治会活動の活性化と加入促進について

質問 Q 加入率の算出方法や加入促進行動計画について、また、活動を活性化し、加入者を増やすための取組について伺います。

回答 A 加入世帯数を基準総世帯数で除して算出する加入率が年々減少傾向にあることから、平成26年度に、自治会加入促進行動計画を策定したところです。

現在、この行動計画に基づき、広報誌等を使った加入促進はもとより、自治会加入促進ハンドブック等を活用し、市民の皆様が自治会の役割や自治会加入のメリットをご理解いただけるよう努めており、平成28年度は、前年度に比べ加入世帯数は増加しましたが、自治会連合会とより一層の連携を図り、自治会活動の活性化と加入促進に努めてまいります。



小中学校の不登校対策について

質問 Q 小中学校における不登校児童・生徒の数とその要因、不登校問題への対策とその成果について、また、教育機会確保法への対応について伺います。

回答 A 平成27年度における不登校児童・生徒数は、小学生43名、中学生184名となっております。その主な要因は、家庭に関する状況や学業の不振が40%を超え、不安や無気力の傾向がある割合も高く、家庭環境や学力面への支援メンタル面でのサポートが重要であると捉えています。各学校では、日頃から授業改善や放課後等を利用した学習支援を行うとともに、個別支援カードの作成により共通理解を図り、学校体制で取組を進めています。

また、教育機会確保法で努力義務とされている、不登校児童・生徒の学習活動に対する支援を行う施設として、本市では適応指導教室を3か所開設しており、学習保障や学校復帰に向け支援を行っています。

その他の質問項目

・女性が活躍する社会づくりに向けての施策と課題について 他



創政こうふ
一般質問（一問一答）

小沢 宏至

本庁舎駐車場について

質問 Q 駐車台数や太陽光パネルからの落雪対応について、また、今後の根本的な改善策について、見解を求めます。

回答 A 駐車場の利用状況は、休日や月末、年度末等にみ明けや月末、満車時対応としては、誘導員による積極的な誘導や平和通り側からの入退車を優先し、城東通りの渋滞緩和に努めるとともに、証明書取得の際は各行政窓口センター等を利用していただくことなどを本市ホームページ等で周知しています。

ブドウ棚をイメージした太陽光パネルからの落雪対応については、雪の除去を迅速に行い、駐車を規制したスペースの早期開放に努めており、平成29年度には、除雪困難な箇所について、除雪対策用通路の設置工事を予定しています。

今後は、改善可



能なものについては対応を行うとともに、利用実態にあわせた対策を検討してまいります。

危険物の保管場所等の周知について

質問 Q 市民が自らの命を守るためにも危険物の保管場所等の情報を周知するべきと考えますが、見解を求めます。

回答 A 危険物施設は、大きく分けて製造所、貯蔵所、取扱所の3種類に分けられており、これらの危険物施設は、消防法や建築基準法等の法令によって規制されています。

しかし、和歌山県において潤滑油を製造する工場で火災が発生し、付近の住民に対し避難指示が発令されたことから、危険物施設における火災や事故、地震等の大規模災害時の対応も踏まえて、危険物を貯蔵し、または取り扱う施設の場所等を周知することについては、消防本部等と協議を行ってまいります。

その他の質問項目

・観光周遊バスの運行について 他



公明党
一般質問（一問一答）
中村 明彦

障害者差別解消法に基づく取組とヘルプカードについて

質問 Q 障害者差別解消法に基づく取組、また、ヘルプカード導入について、どのように取り組んでいくのか、考えをお聞かせください。

回答 A 法律が目指す共生社会的取扱いの禁止等について周知を行うとともに、障害者差別地域相談員を配置し、障がい者等からの相談に必要な対応を行っています。更に、本市の職員が適切に対応するための職員対応要領に基づき、障がい者への理解を深めるため、今後、順次、職員研修を行ってまいります。

ヘルプカードの導入については、来年度から窓口等において利用方法を説明しながらヘルプカードを配布するとともに、カードを提示した人が適



切な支援が受けられるよう、関係団体にもご協力をいただきながら、広く周知を行ってまいります。

路上喫煙禁止区域の指定について

質問 Q 人通りの多い所から路上喫煙禁止区域を拡大することを提案しますが、考えをお聞かせください。

回答 A 本市の路上喫煙禁止区域は、平成22年12月から、オリオン通りの全区域を指定したことで、喫煙マナーの向上や環境美化に繋がっています。

こうした中、開府500年等の節目の年を契機として、交流人口の増加が期待されていることから、京都の玄関口である甲府駅周辺の環境美化と安全で清潔なまちづくりに努めていく必要があると考えています。

現在、地元住民や地元商店街等の代表者、山梨県等と意見交換会を開催し、様々な意見を伺っており、今後は、これらの意見を参考に、甲府駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定することを目指してまいります。

その他の質問項目

・介護離職者の相談について 他



無所属
一般質問（一括）
神山 玄太

人口減少の中で都市が郊外に広がっていく状況について

質問 Q 本市のまちづくりにおける基本的な認識として、人口減少が続く中で都市が郊外に広がっていくことについて、どのように捉えていますか。

回答 A 人口減少が見込まれる中で、市街地が拡散して低密度化すれば、一定の人口密度に支えられてきた医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスの提供が困難になり、地域の活力の維持等への影響が懸念されます。

国は、コンパクトシティ・プラス・ネットワークという集約と連携によるまちづくりを推奨し、県も拡散型都市構造から集約型都市構造への転換を目指すとしており、本市でも国や県の目指すまちづくりの方向性との整合に努めながら、本市に適したコンパクトなまちづくりを推進してまいります。



放課後の子どもの居場所づくりについて

質問 Q 甲府モデルの放課後子供教室の設置の状況と、放課後児童クラブとの一体的な運営に向けた取組について伺います。

回答 A 校長経験者を統括コーディネーターとして配置し、放課後子供教室の開催場所や地域の支援ボランティアの確保といった課題を整理する中で、既存教室への支援や新たな教室を開設するための運営規準として甲府モデルを策定しました。甲府モデルでは、教室の運営に教育的な視点を加え、学習支援等を効果的に行うことで多彩なプログラムを実施できるよう準備しています。国は、将来にわたっても余裕となると見込まれる普通教室の活用について、学校教育上支障がない範囲で積極的に活用していくよう勧めていることから、児童数の推移や利用状況などを把握する中で、今後は甲府モデルをもとに、放課後児童クラブとの一体的な実施等、教室の有効活用に向けてまいります。

その他の質問項目

・空家等対策計画に係るまちなか定住について 他

常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

民生文教委員会

◆議案第25号 平成28年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

特定入所者介護サービス費の利用者負担段階の新たな判定要件の追加は負担増となる市民が生じるため反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第18号 専決処分について(医療事故に係る損害賠償の額の決定について)

◆議案第19号 専決処分について(医療事故に係る損害賠償の額の決定について)

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しましたが、診療に係るマニュアルの改善を求める意見と、今後重大な事故を起こさないようにするためインシデントの件数を減らす対策を求める意見がありました。

◆議案第21号 平成28年度甲府市一般会計補正予算(第7号) 中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、小学校老朽化リニューアル工事については早期に完了するよう求める意見がありました。

◆議案第22号 平成28年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第16号 専決処分について(甲府市学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆請願第29-1号 ギャンブル依存症の対策に関する請願

願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

総務委員会

(3月7日審査)

◆議案第24号 平成28年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)

◆議案第21号 平成28年度甲府市一般会計補正予算(第7号)中当委員会所管分

2案については、貸付事業は償還率が低く、特別会計の貸付金未償還分を一般会計からの繰出金で補てんすることには反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第15号 専決処分について(職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第23号 平成28年度甲府市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月21日審査)

◆議案第49号 平成28年度甲府市一般会計補正予算(第9号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第50号 教育委員会委員の任命について 他2案

いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

環境水道委員会

◆議案第43号 笛吹市の公の施設を利用することに関する協議について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、障がい者の方が利用する際の料金の減免について協議していくよう求める意見がありました。

◆議案第17号 専決処分について(企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について)

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第27号 平成28年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会

◆議案第48号 債権の放棄について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、未納への対応については、さらに関係部署等と連携するよう求める意見がありました。

◆議案第21号 平成28年度甲府市一般会計補正予算(第7号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、動物園整備事業については、官民連携手法等を検討することにより、より良い動物園となるよう求める意見がありました。

別委員会審査の概要

平成29年度予算案等を審査

◇予算特別委員会

委員長 大塚義久
副委員長 中村明彦
委員 池谷陸雄
坂本信康
小澤 浩
桜井正富
向山憲稔
長沢達也
木内直子

原田洋二
長沼達彦
鮫田光一
山中和男
兵道顕司
清水英知
神山玄太



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◇平成29年度予算の重点配分について
人口減少や少子高齢化への対応を念頭に、こうふ未来創り重点戦略プロジェクト【2016年度改定】等に掲げた施策・事業として、甲府の未来を担う子どもたちの健やかな成長と子育てへの積極的な支援や、中小企業・小規模企業への新たな支援、本市が持つ重層的な歴史や文化などを

を活用した観光戦略の展開のほか、成年後見制度普及促進や空家等の適切な管理などを着実に推進するとともに、中核市移行と開府500年を新たな契機として、選ばれる都市への更なる成長と発展に向けた取組を推進するため、限られた財源の重点化・効率化に努めた予算配分にしたとの答弁がありました。

これに対し、厳しい経済情勢ではあるが、市長が蒔いた種が大きく花咲くよう、確実な施策・事業の推進を求める意見がありました。

◇観光戦略の全市的な展開について

こうふ未来創り重点戦略プロジェクト【2016年度改定】において、観光地経営体制の整備等のため、観光地域づくりの推進母体として国が登録を進めているDMOの設立を目指すとともに、着地型観光メニューの充実として、観光事業者等を支援する制度を構築していき、宿泊需要の喚起に向けた取組として、本市の魅力効果を発信し、宿泊促進策を講じていくとの答弁がありました。

用語解説

「DMO」とは Destination Management/Marketing Organization の略で、各地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

これに対し、DMOの運営にあたっては、地域で循環していくような仕組みの創出についての検討を求めるとの意見がありました。

◇若者世代の移住・定住等の対策に

Uターン

若者世代の著しい転出超過の抑制とUターンを促進するため、こうふフューチャーサーチ普及促進事業や就職応援合同企業説明会の開催に加え、甲府市就職応援サイトの構築など、転出抑制と転入促進の両面からの事業展開に努めるとともに、新たに甲府市中小企業振興融資対象者等の拡充、空家等を活用した住環境の整備への支援、子育て世代包括支援センターの開設、遠距離通学者に対する定期券への補助などを新年度予算に計上し、若者の地元への定着促進に向けた効果的な施策を推進していくとの答弁がありました。

用語解説

「Uターン」とは Uターンとは、地方から都市部へ移住した人が、再び地方の生まれ故郷に戻ること。Jターンとは、地方から大都市へ移住した人が、生まれ故郷の近くで元の移住先よりも規模の小さい地方都市圏や中規模な都市に戻ることに。Iターンとは、出身地とは別の地方に移住すること。

◇市民生活の実態と経済動向等の分析について

政府においては、日本経済全体の持続的拡大均衡を目指す取組として、地方創生や働き方改革、子育て・介護の環境整備等の様々な施策の推進により、市民生活や地域経済は明るい兆しが見えるものの、景気回復の実感は乏しい状況にあることから、引き続き、国内、県内の経済や景気情勢、市民生活に直結する指標などを的確に捉える中で、市民が安心して暮らすことができる市政運営に努めていくとの答弁がありました。

◆条例

甲府市農業委員会の委員の定数等に関する条例制定については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、新しい制度の中で更なる農業行政の発展に努めるよう求める意見がありました。

◆一般会計

○歳入について

市債の借入れについてただしたのに対し、交付税措置のある有利な借入れにより、将来の負担軽減に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、引き続き本市の財政健全化指標を注視しながら、バランスのとれた財政運営に努めていくよう求める意見がありました。

平成29年度予算特

○総務費について

こうふフューチャーサーチャージ普及促進事業についてたまたまのに対し、東京圏の西部地区に所在する大学等の学生の参加や、県内大学等の1・2年生を対象とした県内企業の見学会の授業への取り入れを促進するとともに、参加企業を甲府圏域に拡大していくとの答弁がありました。

これに対し、本市が選ばれる都市となるよう様々な角度からの取組を推進するよう求める意見がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- ・運転免許証返納高齢者支援事業については、公共交通の継続的な利用に向けた取組を検討し、交通安全対策を更に推進すること。
- ・バーチャルリアリティを利用した歴史情報の発信については、シニア世代も気軽に利用できる内容とする。

- ・新たな協働の推進に関する行動計画の住民周知に努め、更に協働によるまちづくりを推進すること。
- ・こうふ開府500年記念事業は、多彩な事業を企画するとともにプレ事業の開催を検討すること。

○衛生費について

子育て世代包括支援センターの運営体制についてたまたまのに対し、マイ保健師や子育て支援コーディネーターが利用者支援を行うとともに、子ども相談センター「おひさま」との

連携を図る中で多角的に対応していくとの答弁がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- ・ごみの減量化を図るため、プラスチック製容器包装の分別回収を更に促進すること。
- ・引き続き、ペットの適正な飼育についての周知に努めること。

用語解説

「子育て世代包括支援センター」とは
 妊娠期から子育て期にかけての様々なニーズに対応するための相談窓口のこと。

○土木費について

空家等対策推進事業についてたまたまのに対し、新たに担当課を設置し、実態調査、データベース化及び評価を行い、民間事業者と構成する法定協議会等を中心に、自治会や移住・定住コンシェルジュとも連携しながら、空き家バンクなどの既存事業との整合性を図り、効果的な対策を推進するとの答弁がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- ・市営住宅敷地内の樹木については、点検を行い安全管理に努めること。
- ・春日本通り線整備については、障がい特性の異なる方からの意見も反映すること。

○教育費について

史跡武田氏館跡整備事業についてたまたまのに対し、総合案内所は旧堀田家住宅と調和のとれた外観とし、訪れた方の滞留性と回遊性に配慮した内容で一体的に整備していくとの答弁がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- ・幼児教育センターの運営については、引き続き子育て世代の声を反映すること。
- ・放課後子供教室において始める甲府モデルについては、地域と連携しながら他教室への導入を検討すること。
- ・サポートティーチャー事業については、即効性を求めず、10年後を見据えた取組として、充実強化していくこと。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

医療費の自己負担限度額の変更により、70歳以上の被保険者の負担が増えることから反対であるとの意見がありました。

○介護保険事業特別会計

高額介護サービス費の自己負担上限額が引き上げられることに対し、被保険者への負担軽減策が予算計上されていないことから反対であるとの意見がありました。

このほか、主な要望・意見は次の

とおりです。

- ・設置数の増加も踏まえ、認知症当事者やその家族等が集まることができ身近な相談場所として、引き続き認知症カフェの効果的な運営に努めること。
- ・居宅介護住宅改修費等の受領委任払いについては、制度の定着を図るとともに、業者による手続きがスムーズに行えるよう努めること。

◆企業会計

○地方卸売市場事業会計

新たな経営戦略についてたまたまのに対し、市場の効率的な運営と機能の強化を推進していくことを目的として、平成29年度中に取りまとめるとの答弁がありました。

これに対し、公設市場のあり方や役割が注視されていることから、積極的な経営戦略とするよう求める意見がありました。

○下水道事業会計

有収率向上のための取組についてたまたまのに対し、管渠の更新や改良により下水道管に流入する浸入水を削減し、計画的な防止対策の推進に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、費用対効果を意識した取組に努めるよう求める意見がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決するものと決しました。

平成29年3月定例会審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	無 所 属
議案第 1 号	平成29年度甲府市一般会計予算	3月21日	可決	○	○	○	×	○	○
議案第 2 号	平成29年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	×	×	○
議案第 3 号	平成29年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	平成29年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	×	○	○
議案第 5 号	平成29年度甲府市介護保険事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	×	×	○
議案第 6 号	平成29年度甲府市古閑・梯町簡易水道事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	平成29年度甲府市農業集落排水事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	平成29年度甲府市簡易水道等事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成29年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	×	×	○
議案第10号	平成29年度甲府市浄化槽事業特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成29年度甲府市地方卸売市場事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成29年度甲府市病院事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成29年度甲府市下水道事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成29年度甲府市水道事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第15号	専決処分について(職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について)	3月9日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第16号	専決処分について(甲府市学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第17号	専決処分について(企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第18号	専決処分について(医療事故に係る損害賠償の額の決定について)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第19号	専決処分について(医療事故に係る損害賠償の額の決定について)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第20号	専決処分について(平成28年度甲府市一般会計補正予算(第6号))	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成28年度甲府市一般会計補正予算(第7号)	〃	可決	○	○	○	×	○	○
議案第22号	平成28年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成28年度甲府市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成28年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	×	○	○
議案第25号	平成28年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	×	○	○
議案第26号	平成28年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成28年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第28号	甲府市農業委員会の委員の定数等に関する条例制定について	3月21日	〃	○	○	○	○	○	○
議案第29号	甲府市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第30号	甲府市職員給与条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第31号	甲府市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第32号	甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○

審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政友 クラブ	創政 こうふ	公明党	日本 共産党	社会 民主党	無所属
議案第33号	甲府市公共施設整備事業等基金条例の一部を改正する条例制定について	3月21日	可決	○	○	○	○	○	○
議案第34号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第35号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第36号	甲府市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第37号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第38号	甲府市中小企業振興融資条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第39号	甲府市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第40号	甲府市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第41号	甲府市リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	3月9日	〃	○	○	○	○	○	○
議案第42号	笛吹市に公の施設を利用させることに関する協議について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第43号	笛吹市の公の施設を利用することに関する協議について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成28年度甲府市一般会計補正予算(第8号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第45号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	3月21日	〃	○	○	○	○	○	○
議案第46号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第47号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第48号	債権の放棄について	3月9日	〃	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成28年度甲府市一般会計補正予算(第9号)	3月21日	〃	○	○	○	○	○	○
議案第50号	教育委員会委員の任命について(小宮山美弘)	〃	同意	○	○	○	○	○	○
議案第51号	教育委員会委員の任命について(堀 とめほ)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第52号	監査委員の選任について(萩原 泰)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
甲議第 1 号	ギャンブル依存症対策に関する意見書提出について	3月9日	可決	○	○	○	○	○	○
甲議第 2 号	甲府市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	3月21日	〃	○	○	○	○	○	○
甲選第 1 号	日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について (当選人: 梶原文教、田中修平、土橋秋生、五味 務、田中良彦、長塚 晃、小林善郎)	3月9日	当選	○	○	○	○	○	○
甲選第 2 号	柿坂外四山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について (当選人: 伊藤光紘、望月哲彰、永田幸雄、小林正直)	〃	〃	○	○	○	○	○	○

○賛成・×反対

政友クラブ ○荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久 廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康 長沼達彦
小澤 浩 末木咲子 深沢健吾 藤原伸一郎 鮫田光一
創政こうふ ○桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男 天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔
公 明 党 ○兵道顕司 中村明彦 植田年美 佐野弘仁 長沢達也
日本共産党 ○内藤司朗 清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

